

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 7 月 10 日

長野県知事 阿部守一 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日		
会 社 名	株式会社 石井工務所		
住 所	〒387-0011 千曲市大字杭瀬下 1 7 5 番地		
代 表 者 名	代表取締役 石井英嗣		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	総務部		
担 当 者 名	石井邦彦		
連 絡 先	T E L	026-272-2271	
	F A X	026-272-5649	
	電子メールアドレス	info@ishii-works.co.jp	
ホームページアドレス	http://www.		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	8 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	1900.00	4034.11	572.91	101.78
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	1875.00	3810.56	558.84	947.57
元請け売上高の推移(円)	7.6 億円	7.9 億円	5.3 億円	5.3 億円

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

1. 当社書式の使用材料発注書にて資材搬入時の荷姿を指示し、再利用の梱包材の使用や廃棄物になることが予想される梱包等についての抑制を図っている。
2. 木材、型枠・鉄筋等の現場施工について、可能な限り搬入前に加工を済ませるよう工程を計画し、現場での端材や余剰品の発生を抑制している。
3. 建築改築工事に伴う現況建物の取り壊し工事において、その作業所で再利用できる材料を検討し、場内にて保存保管し利用している。
4. 作業所間の仮設安全資機材の効率的転用による、廃材の削減を図っている。
5. 環境負荷低減車の導入・社内記録等のペーパーレス化の再推進（コピー用紙削減）
6. 各作業所における産業廃棄物管理について、これまで蓄積してきた過去同種類似工事との比較により処理方法を決定している。
7. 使用資材のモジュール化による端材発生の抑制とリサイクル製品の採用
8. 社内工事担当者間による発生残土等の転用
9. 廃棄物の徹底分別月間の設定（令和8年.3月期 旧埋蔵文化財センター解体）
10. 地域・学校等による古紙等回収事業へのボランティア参加（運搬等）
11. 全パトロール時における環境対策の観察、監視
12. SDGs推進企業の登録更新。（2024.01.29 登録 第7期 557）
13. 電子マニフェストについては、現行マニフェストの公共工事竣工検査提示書類としての取り扱いが変更になり次第導入を図る。（旧埋蔵文化財センター解体工事から導入）
14. 廃プラスチック処分委託先のリサイクル方法が変わり、リサイクル率が大幅に落ちてしまっている。混載等の分別強化、処分先・処分方法を変更するなど、リサイクル率の向上を図っている。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	7年度 目標値	7年度 実績値	6年度 実績値	5年度 実績値
埋め戻しR C材	100	100	100	100
アスファルト（再生材30%以上配合）	100（30%）	100	100	100
インターロッキングブロック（再生材30%以上配合）	100（30%）	100	100	100
全 体	100	100	100	100